



やらざあ

Vol.127

2018年6月号

ふみだそう、福祉でまちづくり

出前福祉教室

東部中学校の3年生167名が
平成29年6月29日に
車いすと視覚障害の
体験学習を行いました。



みんなどん
なことに気
づいたかな
〜?

座っちゃうと
やっぱり上
の方には手が
届かないね。



慣れた校舎内でも車いすで体験すると、普段何気なく行っていることでも不便があり、相手を思いやり常に声をかけることの大切さに気づきました。

ちよつと高い段
差があるから
気をつけてね!



視覚障害の体験では、アイマスクをして2階の廊下を1周。ペアの人に誘導されながら少しの段差や軟らかいところなどを足の裏で感じ、大きな段差は回避したり、イスに座ったりしました。またおなじ形でも中身や色の違いが判るように工夫されている「ユニバーサルデザイン」を体験。これから自分が視覚障害の方にどんな手伝いができるかを感じてもらいました。

私が読んでいる月刊誌に「虹色のチヨーク・働く幸せを実現した町工場の軌跡」の本が紹介されていた。会社名は「日本理化学工業(株)」で、チヨークを作っていて、日本でのチヨークのシェア50%を占める筆頭メーカー。
従業員の七割が知的障害者で「人の幸せは、働くことによって手に入れることができる。それは、健常者でも知的障がい者でも、少しの差異もない」「彼らこそ、この会社に必要なんです」との経営者の信念。知的障害者の従業員の母親の言葉で「わが子が会社の役に立っている。皆に褒めていただける。働く喜びに満ちている。これ以上の幸福はない。今の息子なら安心して逝けるかな」母親の心情がうかがい知れる。ともに働き、ともに生きる喜びにあふれている会社での様子。
まさに「この会社のことを働き方改革」というのではないのでしょうか。



平成30年度 茅野市社会福祉協議会の事業と予算

市民一人ひとりを大切にしたい総合的な地域福祉の推進を目指して、平成30年度は下記の事業に取り組みます。なお、これらの事業は「やらざあ」にて随時、紹介していきます。



予算総額 397,513千円



福祉を支えるための 総合支援・応援体制づくりを推進します

(70,819千円)

社協広報紙「やらざあ」、ホームページなどを活用した情報提供、福祉意識の啓発を行います。また、社会福祉大会の開催や社協会員の加入促進を行うとともに、様々な生活課題に対して総合的に支援、応援できる社協体制の充実を図ります。

また、平成30年度は有事に備え、災害ボランティアセンター立ち上げ訓練を実施します。

一人ひとりの日常生活を支え、応援します

(55,163千円)

住み慣れた地域で安心して生活を送れるように、住民参加型福祉サービス「シャララほっとサービス」、配食サービス「おたっしゃ弁当」、移送サービス、ファミリー・サポート・センター事業など、利用者一人ひとりに寄り



塩っぱの湯サービス

添った生活支援サービスを提供します。また、様々な生活課題を抱える方に対し、総合相談や貸付事業、成年後見制度などを制度横断的に組み合わせることで支援を行います。

“心のこもった” 介護サービスを 提供します

(156,820千円)

訪問介護事業（ヘルパー）・通所介護事業（西部デイサービス）・居宅介護支援事業（ケアマネジャー）を通して、高齢者や障害のある方が安心して地域での自立生活が続けられるよう、きめ細かな介護サービスを提供します。

みなさんの地域づくりを応援します

(61,400千円)

各地区に1名配置している地域福祉活動推進係が、「住民同士が互いに支え合える地域づくり」をすすめるため、地区社協や福祉推進委員の活動支援を行います。また、個別訪問を通して、子どもから高齢者まで一人ひとりの生活課題を解決できる



手作り弁当をお届けよう支援を行います。

住み慣れた地域で生きがいを持ちながら生活できるように、活動者同士のつながり、地域での見守り、趣味や体操等による居場所づくりなどの支え合いの仕組みを地域のみなさんと一緒に考えていきます。

ボランティア・市民活動（市民力）を 推進、支援していきます

(16,222千円)

地域・学校などで“ふくし”の心を育む福祉教育（共育）学習を行うとともに、地域で行われている様々なボランティア活動に出向き、課題を一緒に考えます。また、ゆいわーく茅野において、市民、行政、社協の三者協働によって、様々なボランティア・市民活動の総合的な支援を展開していきます。



疑似体験の様子

障害のある方の居場所づくりや 就労を支援します

(37,089千円)

「あすなろセンター」の運営を通して障害のある方に、就労の機会、機能訓練、社会参加の場を提供していきます。また、利用者の方々の様々なニーズに応え、適切なサービスが受けられるように利用計画を作成する相談支援サービスを提供します。

詳しくは、茅野市社会福祉協議会のホームページをご覧ください。社協事務局へお問い合わせください。



ボランティアに関心はあるものの始めるきっかけがない、という方のために市内の福祉施設にご協力をいただき、ボランティア活動を体験する「サマーチャレんじ2018」を開催します。この夏、ボランティア活動のはじめの一歩を、自分の足でふみ出してみませんか。

【体験期間】 7月20日(金)～8月17日(金)

【活動場所】 市内の福祉施設(高齢者・障害者福祉施設、保育園等)

【参加対象】 小学5年生から一般の方まで(活動先により、ことなります)

※原則として同施設で連続3日間活動ができ、事前学習会に参加できる方

【事前学習会】 7月13日(金)午後6時～7時(受付:午後5時30分)

会場: ゆいわーく茅野 集会室(茅野市ひと・まちプラザ3階)

【参加費】 一人500円(ボランティア活動保険代を含む)申込時にお持ちください。

【募集期間】 6月11日(月)～7月2日(月)

※活動場所を一覧にした冊子を6月上旬から社協事務局でお渡しします。また、市内小・中・高等学校等にも冊子を配布しますので、ご覧いただきお申込みください。

【問合せ・申込み先】 茅野市社会福祉協議会 地域福祉活動推進係

担当: 高山 TEL 73-4431



H29年度の体験の様子

報告

家庭介護者リフレッシュ事業



「いこいの集い」は、介護ならではの悩みや大変さを抱えているみなさん同士が胸の内を語り合い、明日も頑張ろうという活力アップや気分転換をしていただくためのリフレッシュ事業です。

まだ、寒さの厳しい2月27日に毎年恒例となりました、春の家庭介護者「いこいの集い」を開催いたしました。

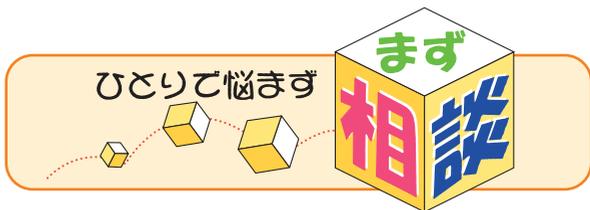
エクシブ蓼科にて、午前中は温泉を楽しみ、昼食はイタリアンのコースを満喫しました。午後は市より派遣された健康運動指導士による疲労回復のためのストレッチやマッサージなど体験し、参加者からのいろいろな質問に丁寧に分かりやすく答えていただき、笑いの絶えない楽しい時間を過ごすことができました。参加者から「今日はゆっくりさせてもらいました」などの声をたくさんいただきました。

次回の開催は秋頃を予定しています。ご家庭で介護されている方ならどなたでも参加できます。参加者のみなさんが、少しでも心身を癒せる“ひととき”を提供していきたいと思っておりますので、ぜひたくさんの方の参加を心よりお待ちしております。



読者の声

- ・クイズの応募のあて先が良く分かりませんでした。そう思う方もいらっしゃると思います。もっと参加しやすい広報紙にしてほしいです。(玉川 40代女性)
- ・移住して2年目。広報を定期的に手に取り始めたばかりで、すみずみまで読ませていただいています。(豊平 60代女性)
- ・毎回楽しみに読ませていただいています。(富士見町 70代女性)
- ・毎月拝見しています。茅野市の地域それぞれで様々な取り組みや活動を皆さんされているのだなと分かり、心が温かくなりました。これからも、人や環境にやさしく支えあえる明るいつ茅野市であってほしいなと思いました。(宮川 30代女性)
- ・HPから応募できるという事を初めて気が付きました。試しにという気持ちで応募します。(ちの 60代女性)



人生には様々な悩みがあります。
「誰にも相談できない」
「どこに相談したらよいかわからない」
そんなときは、まず社協にお電話ください。
TEL 73-4431

心配ごと相談

どんなことでもご相談ください。
毎週金曜日 午前9時～正午
相談員：心配ごと相談員
心の悩み相談には、事前の予約が必要です。
(精神保健福祉士が対応)

結婚相談

結婚を望まれる方の相談
毎月第1・3土曜日 午後1時～午後4時
毎月第2・4金曜日 午後6時30分～午後8時30分
相談員：結婚相談員

司法書士の法律相談（予約制）

身近な法律に関する相談
毎月第2水曜日 午後3時～午後5時
相談員：司法書士

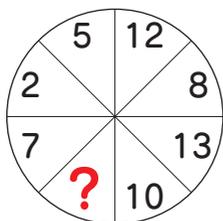
すべての相談会場は：
社会福祉協議会相談室
(茅野市ひと・まちプラザ2階)

今回のクイズ

何が入るかな？



?に入る数字は
な～に？



応募要領

クイズの答え、住所、氏名、年齢（年代）、電話番号に社協へのご意見、ご要望、やらざあのご感想、つぶやきなど一言添えて社協（下記：編集委員会）までお送り下さい。ハガキや封書その他、ホームページのお問い合わせフォームからも応募できます。正解者の中から抽選で3名の方に図書カードを差し上げます。

応募締め切り 平成30年6月19日(火)

前回のクイズの答え 絆

当選者

谷亀伸代さん(中大塩) 坂元順子さん(豊平)
杉野みきえさん(玉川)
当選された方には図書カードをお送りいたします。



社協広報紙 やらざあ Vol.127

2018年6月号

発行／社会福祉法人 茅野市社会福祉協議会

編集／やらざあ編集委員会

〒391-0002

茅野市塚原2-5-45 茅野市ひと・まちプラザ2階

TEL (0266) 73-4431

FAX (0266) 73-8030

URL: <http://sharara.or.jp>

E-mail: support@sharara.or.jp

ご寄付ありがとうございました

平成29年12月1日～平成30年3月31日まで
(順不同、敬称は省略させていただきます。)

【寄付金】

㈱三井の森協力会	100,000円
眞道洋一 正子	500,000円
明るい社会づくり運動茅野市協議会	66,757円
諏訪友の会	10,000円
茅野レオクラブ	10,000円
茅野ライオンズクラブ	70,000円
長峰区高齢者クラブ峰寿会	15,220円
学校法人聖リゴリオ学園 茅野聖母幼稚園	30,000円
有限会社夢美人 代表取締役 両角和茂	55,276円
茅野市北部中学校生徒会	216,166円

【遺志金】

木川修一	100,000円
岩波吉春	100,000円
塚原一郎	100,000円

【寄贈】

㈱三社電機イースタン	作業服62着
------------	--------

みなさんからいただいたご寄付は、社協運営事業、広報紙の発行、ボランティア活動の支援等に使われています。
※この他にも匿名で多くの物品やご寄付をいただいております。

社協広報紙 やらざあ の発行にはみなさんの会費と共同募金が使われています。